

## 第 6 回計画策定委員会における計画骨子案に関する主なご質問・ご指摘事項

	No.	委員質問・指摘事項要旨	検討内容	
			対応	説明等
第 5 章 部分	1	【資料 4 P34 第 5 章基本目標 2】 第 5 章基本目標 2 における指標「家庭系可燃ごみ総排出量」の削減について、人口減少によるものか、3R の推進によるものか判断しづらいため、「1 人 1 日あたりの排出量」の方が指標として適切ではないか。	修正	ご指摘のとおり、家庭系可燃ごみ総排出量については、「1 人 1 日あたりの排出量」に修正します。
	2	【資料 4 P36 第 5 章基本目標 3】 第 5 章基本目標 3 について、「3-2 ストックとしての価値の向上」とあるので、基本目標のタイトルを「安全で安心できる快適な生活環境の保全・創造」としてはどうか。	修正	ご指摘のとおり、基本目標 3 のタイトルを修正します。
	3	【資料 4 P39 第 5 章基本目標 4】 第 5 章基本目標 4 における指標「町内事業所における K E S ・環境マネジメントシステム・スタンダード取得数」について、K E S や I S O は当たり前になってきているので、指標としてはふさわしくないのではないか。R E アクションや脱炭素経営のような目標を設定してもらう方がよいのではないか。	修正 再検討	基本目標 4 の指標について、「町内事業所における K E S ・環境マネジメントシステム・スタンダード取得数」は据え置きとしています。 また、環境と経済の関係性及び町内事業者の今後の企業経営のあり方を考える中で、新たに「脱炭素経営に取り組む町内事業者数」及び「S D G s への貢献の視点を持った経営、事業活動を行なっている割合（事業所アンケート）」を指標として設定します。

第5章部分	4	<p><b>【資料4 P41・42 第5章基本目標5】</b></p> <p>第5章基本目標5における指標「1人あたりの公園面積」について、住民が自然と触れあっている指標として公園面積を設定するよりも、新しい切り口で「住民と自然環境との距離」や「親密度」を測る別の指標の方が良いのではないかと。</p> <p>また、P42の「5-2 生物多様性の保全」における「具体的な取組② 自然とのふれあいの促進」の中で、「歩きたくなる環境づくり」や「河川環境の活用」といったものを検討してみてもどうか。</p>	修正 再検討	<p>新たな指標として、下記の項目を設定します。</p> <p>①久御山町内で大切な場所として「自然とを感じる・生き物とふれあえる」と感じる割合</p> <p>②まちの自然環境（景観等）に対する満足度の割合 ※基本目標3から移動</p> <p>③歩くまち「くみやま」推進事業におけるダウンロードアプリ登録者数</p> <p>④歩くまち「くみやま」推進事業における「歩く拠点」認定箇所数</p>
第6章部分	5	<p><b>【資料4 P58以降 第6章】</b></p> <p>第6章「区域施策編」において、数値目標を見ると最初はしばらく入りやすいところから入っていき、最後の方で急激に加速するような目標となっているが、早い段階で温室効果ガスを大きく削減する方がよい。2027～2029年から急激に削減するというのは計画案としては消極的であり、2050年カーボンニュートラルを達成できないという印象がある。（取組指標は現実的なところに落とし込まれており、月並みな印象）</p>	修正 再検討	<p>ご指摘のとおり、温室効果ガスの削減を早い段階で進めていくため、第6章区域施策編における各種の計画目標における中間値を修正します。</p> <p>なお、中間値はいずれも目標値に対する6割の達成基準をもって設定します。</p>
	6	<p><b>【資料4 P66 第6章域内におけるエネルギーマネジメント】</b></p> <p>非常に関心の高いエネルギーマネジメント会社もできるだけ早くつくることによって、町内にお金が還元され、それがうまく環境教育や再エネ普及支援、省エネ機器導入に回せると思うので、早く設立する方がよい。</p>	修正 事業展開	<p>エネルギーマネジメント会社の設立については、課題等（安価な電力の安定的な入手やニーズ等）の検討や各種調査を計画策定後、速やかに進めていきたいと考えています。</p> <p>また、P66の計画目標において、導入準備の時期を2029年から2027年に修正します。</p>

第 7 章 部 分	7	<p><b>【資料4 P75・76 第7章計画の推進管理】</b></p> <p>第7章の「計画の進行管理」について、「策定委員会」を真ん中に置いているが、計画策定後に住民と事業者が一体となって施策を展開していくことが重要であるため、実行委員会などのアクションを起こす委員会に立て付けを変えていった方が良い。</p>	修正	<p>本計画に定められた各種施策を推進するために「(仮)久御山町環境基本計画施策推進ワーキンググループ」を組織し、取組を進めます。</p> <p>この組織体は、専門の有識者や関係事業者、住民、関係行政機関など多様な構成メンバーで組織しますが、様々な施策やテーマに応じて適切な構成メンバーを配置し、柔軟に取り組んでいくことを想定しています。</p>
全 体	8	<p><b>【資料4全体を通じて】</b></p> <p>計画書の中で全体を通して和暦で記載されているが、西暦での表記も検討いただきたい。</p>	修正	<p>「生物多様性国家戦略2023-2030」などのように固有の名称以外は、「和暦(西暦)」の表記に統一して修正します。</p>

## 第2回環境審議会における計画骨子案に関する主なご質問・ご指摘事項

	No.	委員質問・指摘事項要旨	検討内容	
			対応	説明等
第3章部分	1	<p>【資料4 P27 第3章第2節(2) 様々な課題に対する計画の方針】</p> <p>第3章第2節(2) 様々な課題に対する計画の方針の中に定められている3つの「計画の方針」について、「経済の活性化」を謳った課題が一番上にくるのは環境基本計画として違和感がある。</p>	修正	3つの計画の方針については、いずれも重要な方針と認識しており、明確な順位付けをしているわけではありませんが、記載の順番を修正します。
第4章部分	2	<p>【資料4 P28 第4章第1節目指すべき将来像】</p> <p>第4章の目指すべき将来像に記載されているキャッチフレーズの中で「絆」という漢字が使われているが、常用漢字ではないため公文書では使用しない方が良いのではないか。</p>	修正	ご指摘のとおり、「絆」という漢字について、ふりがなを併記するよう修正します。
第5章部分	3	<p>【資料4 P32以降 第5章基本目標全般】</p> <p>各基本目標に、関連するSDGsのゴールが紐付けられているが、17番のゴールが見当たらないので、整理していただきたい。</p>	修正	SDGsの17番のゴールは全ての基本目標に対応するものとして、各基本目標に17番を記載するよう修正します。
第6章部分	4	<p>【資料4 P66 第6章区域施策編】</p> <p>エネルギーマネジメント会社のあり方について、東日本大震災以降に新電力事業者がたくさん設立され、安価な料金で電気を供給してきたが、現在、多くの事業者が倒産している現状がある。</p> <p>久御山町における地域新電力会社は、町が出資して信頼性のあることをアピールし、利用者を増やす仕組みをつくっていただきたい。</p>	検討	<p>地域新電力の設立については、行政が出資を行なうことで、信頼性を担保する大きな要因になると認識しています。</p> <p>計画策定後には地域新電力の設立のための調査や課題検討を速やかに実施するなど取組を進めていきたいと考えています。</p>
計画全般	5	<p>【資料4 計画全般】</p> <p>国の計画等にはカタカナ用語が多く出てくるが、町の計画ではカタカナ表記をできるだけ避けた方が町民にとってわかりやすいのではないか。</p>	一部修正	<p>固有名詞として浸透しているものを除き、カタカナ表記とかな表記を併記するなど分かりやすい表現に工夫します。</p> <p>また、新たに用語集を作成します。</p>